

県内の景気動向

概況（2024 年 11 月）

景気は、緩やかに拡大している（15 カ月連続）

消費関連では、百貨店売上高は前年を上回る

観光関連では、入域観光客数は前年を上回る

消費関連は、消費マインドは底堅く推移しており、回復の動きが強まっていること、建設関連は、手持ち工事額は高水準で推移しており、回復の動きが強まっていること、観光関連は、秋の行楽シーズンで修学旅行や個人客が増加したことにより好調に推移し、拡大の動きが強まっていること、総じて県内景気は緩やかに拡大している。

先行きは、底堅い消費マインドと観光需要にけん引され、引き続き緩やかに拡大するとみられる。

消費関連

百貨店売上高は、2 カ月ぶりに前年を上回った。注目度の高い催事企画の開催により来店客数が増加したほか、免税売上の増加などもあり売上増加に寄与した。スーパー売上高は、既存店・全店ベースともに 30 カ月連続で前年を上回った。値上げによる単価上昇などにより食料品を中心に売上げが増加した。新車販売台数は、レンタカーや普通乗用車は増加したものの、軽自動車が増加したことから 2 カ月ぶりに前年を下回った。家電大型専門店販売額（10 月）は、15 カ月連続で前年を上回った。

先行きは、引き続き物価の動向に注視する必要があるものの、消費マインドは底堅い推移が見込まれ、回復の動きが強まるとみられる。

建設関連

公共工事請負金額は、県、独立行政法人等・その他は増加したが、国、市町村は減少したことから 2 カ月ぶりに前年を下回った。建築着工床面積（10 月）は、居住用は増加したが、非居住用は減少したことから 3 カ月連続で前年を下回った。新設住宅着工戸数（10 月）は、持家、貸家、給与、分譲、すべての項目で増加したことから 3 カ月ぶりに前年を上回った。県内主要建設会社の受注額は、民間工事は増加したが、公共工事は減少したことから 2 カ月ぶりに前年を下回った。建設資材関連では、セメント、生コンはともに 3 カ月連続で前年を下回った。鋼材売上高は 4 カ月連続で前年を下回り、木材売上高は 3 カ月連続で前年を下回った。

先行きは、建設資材の動向を注視する必要があるものの、手持ち工事額は引き続き高水準での推移が見込まれることなどから回復の動きが強まるとみられる。

観光関連

入域観光客数は、36 カ月連続で前年を上回った。国内客は 5 カ月連続で増加し、外国客は 26 カ月連続で増加した。県内主要ホテルは、稼働率は 8 カ月連続で前年を上回り、売上高、宿泊収入ともに 6 カ月連続で前年を上回った。主要観光施設入場者数は 33 カ月連続で前年を上回った。ゴルフ場は、入場者数・売上高ともに 3 カ月連続で前年を下回った。修学旅行の最盛期であったことや、秋の行楽シーズンによる旅行需要により好調に推移した。

先行きは、外国からの訪日意欲が高く外国客の増加が見込まれること、年末年始の大型連休やスポーツキャンプシーズンの到来で国内客の増加も予想されることから、拡大の動きが強まるとみられる。

雇用関連

新規求人数は、前年同月比 4.0%減と 3 カ月連続で前年を下回った。産業別では、宿泊業・飲食サービス業、情報通信業などで減少した。有効求人倍率（季調値）は 1.12 倍で、前月から 0.03 ポイント低下した。完全失業率（季調値）は 3.3%と、前月から 0.1 ポイント低下した。

その他

消費者物価指数は、前年同月比 3.6%の上昇となり、39 カ月連続で前年を上回った。生鮮食品を除く総合は同 3.3%の上昇となり、生鮮食品及びエネルギーを除く総合は同 2.9%の上昇となった。

倒産件数は 4 件で前年同月と同数となった。負債総額は 2 億 8,700 万円で、前年同月比 20.1%増となった。

りゅうぎん調査（2024 年 11 月）

増減率(%)

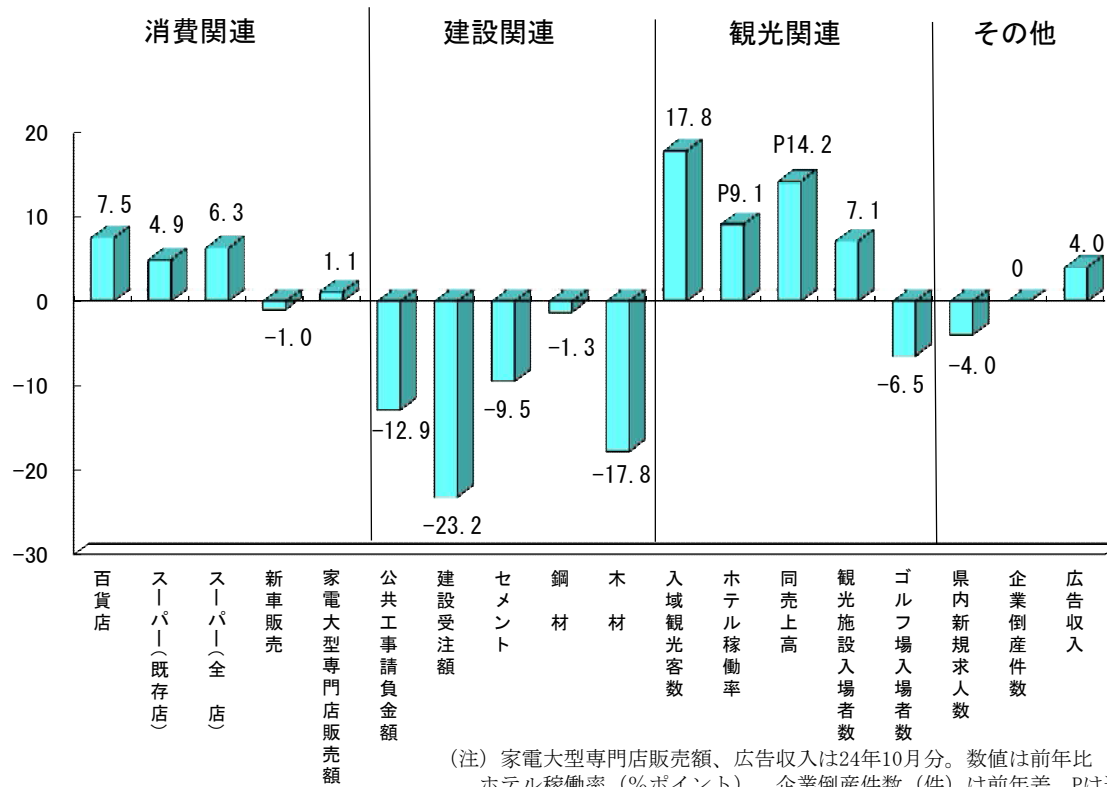
	前年同月比	前年同期比 (2024.9－2024.11)
1. 消費関連		
(1) 百貨店(金額)	7.5	4.0
(2) スーパー(既存店)(金額)	4.9	4.0
(3) スーパー(全店)(金額)	6.3	5.0
(4) 新車販売(台数)	▲ 1.0	0.5
(5) 家電大型専門店販売額(金額)	(10月) 1.1	(8-10月) 3.4
2. 建設関連		
(1) 公共工事請負金額(金額)	▲ 12.9	▲ 33.6
(2) 建築着工床面積(m ²)	(10月) ▲ 35.3	(8-10月) ▲ 20.9
(3) 新設住宅着工戸数(戸)	(10月) 21.3	(8-10月) 0.9
(4) 建設受注額(金額)	▲ 23.2	3.8
(5) セメント(トン数)	▲ 9.5	▲ 11.1
(6) 生コン(m ³)	▲ 9.3	▲ 11.2
(7) 鋼材(金額)	▲ 1.3	▲ 4.8
(8) 木材(金額)	▲ 17.8	▲ 13.1
3. 観光関連		
(1) 入域観光客数(人数)	17.8	15.6
うち外国客数(人数)	91.0	79.7
(2) 県内主要ホテル稼働率	(前年同月差)P 9.1	(前年同期差)P 8.5
	(実数) P 66.7	(実数) P 67.5
(3) "売上高(金額)	P 14.2	P 13.1
(4) 観光施設入場者数(人数)	7.1	11.6
(5) ゴルフ場入場者数(人数)	▲ 6.5	▲ 4.2
(6) "売上高(金額)	▲ 0.1	▲ 3.1
4. その他		
(1) 県内新規求人数(人数)	▲ 4.0	▲ 6.1
(2) 有効求人倍率(季調値)	1.12	1.13
(3) 消費者物価指数(総合)	3.6	3.3
(4) 企業倒産件数(件数)	(前年同月差) 0	(前年同期差) ▲ 11
(5) 広告収入(県内マスコミ)(金額)	(10月) 4.0	(8-10月) 0.7

(注 1) 公共工事請負金額は西日本建設業保証株式会社沖縄支店調べ。建築着工床面積、新設住宅着工戸数は国土交通省調べ。県内新規求人数、有効求人倍率は沖縄労働局調べ。入域観光客数、消費者物価指数は沖縄県調べ。

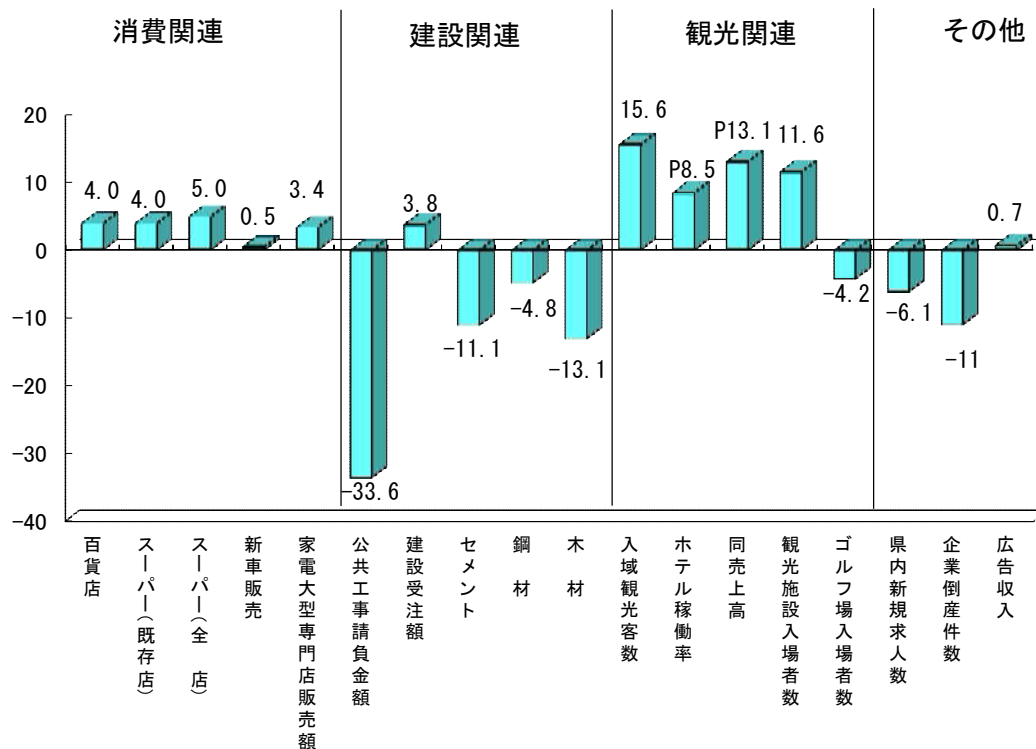
企業倒産件数は東京商工リサーチ沖縄支店調べ。Pは速報値。

(注 2) 有効求人倍率(季調値)と県内新規求人数(人数)は、就業地ベース。

項目別グラフ(単月、2024年11月)

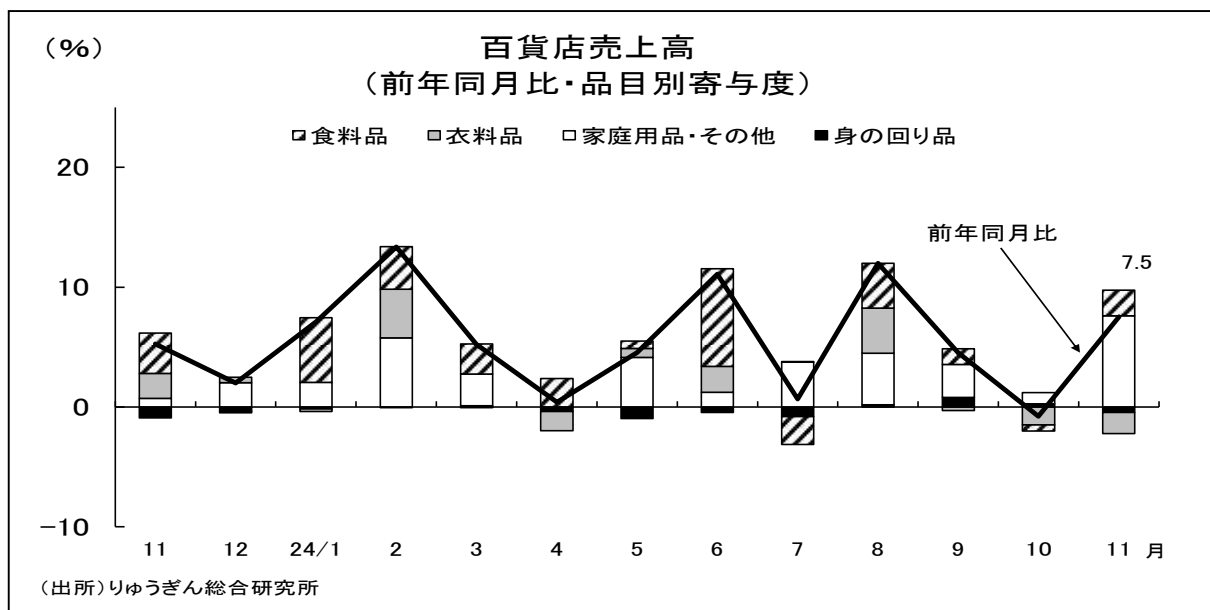


項目別グラフ(3カ月、2024年9月～2024年11月)



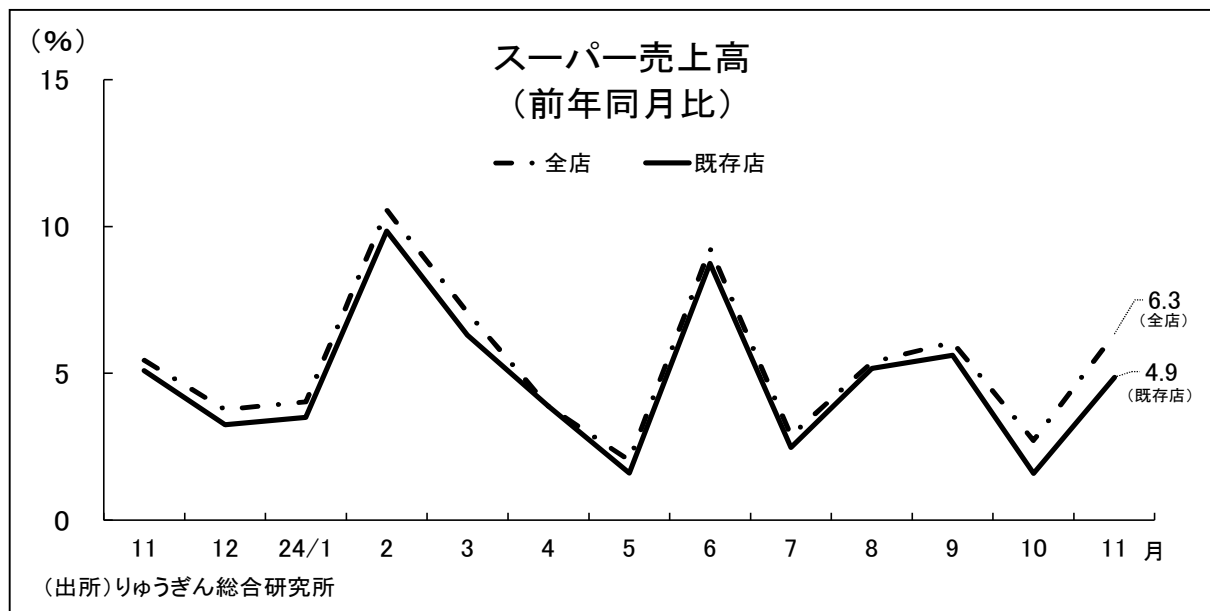
1. 消費関連

(1) 百貨店売上高：2カ月ぶりに増加



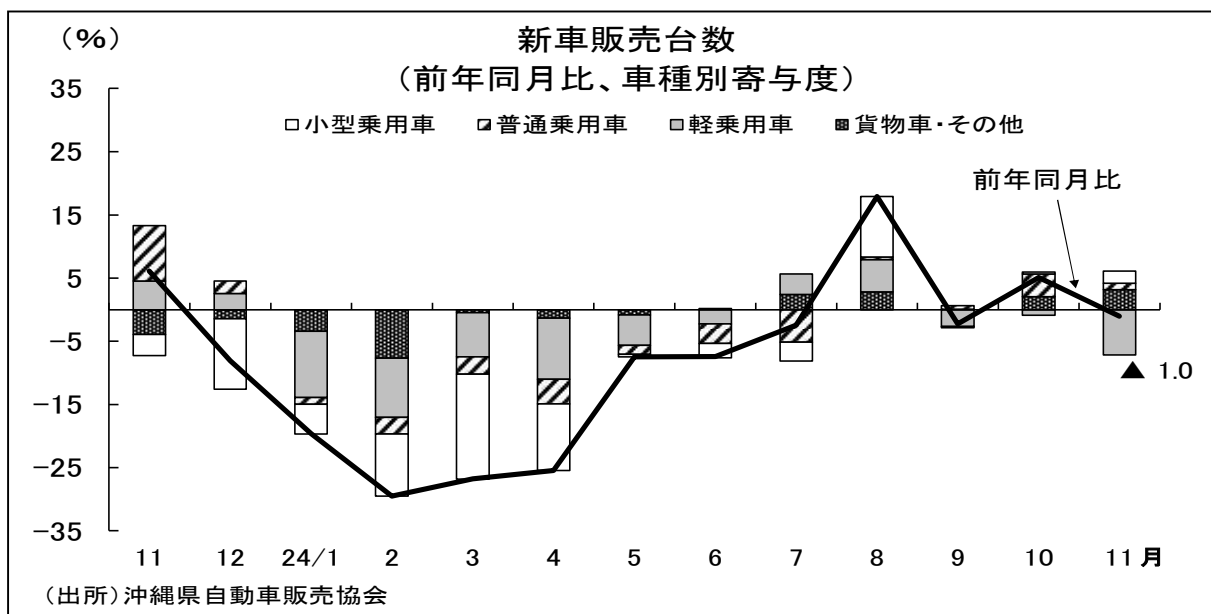
- 百貨店売上高は、前年同月比7.5%増と2カ月ぶりに前年を上回った。
- 注目度の高い催事企画の開催により来店客数が増加したほか、免税売上や外商売上の増加などもあり前年を上回った。
- 品目別にみると、食料品が同5.8%増、家庭用品・その他が同29.0%増、衣料品が同5.7%減、身の回り品が同7.2%減となった。

(2) スーパー売上高：既存店・全店ともに30カ月連続で増加



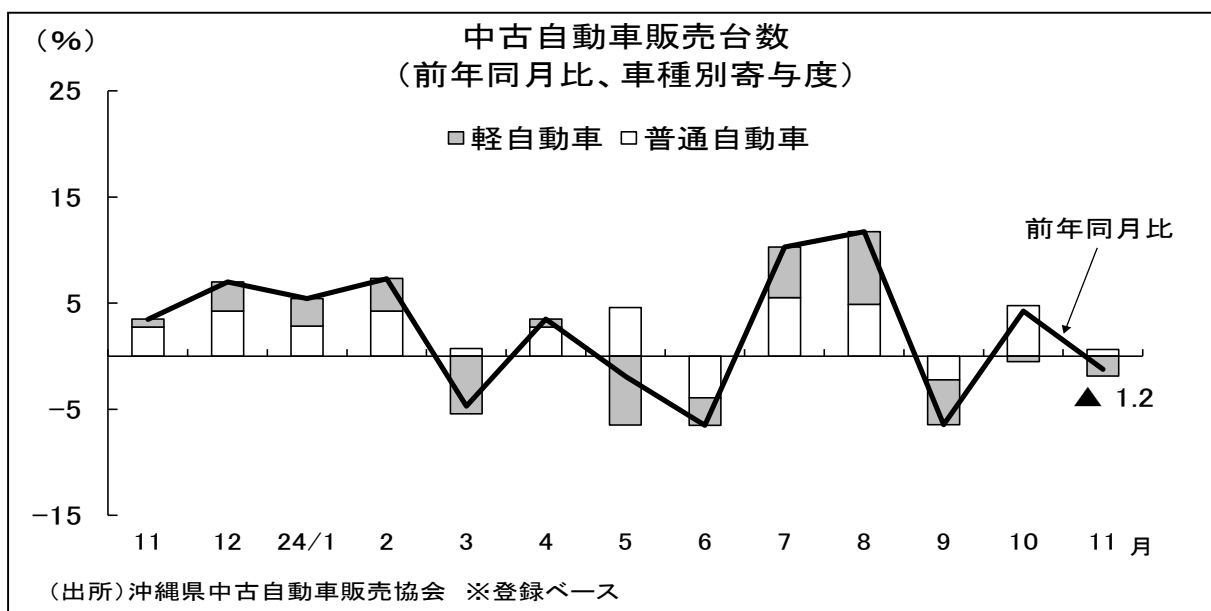
- スーパー売上高は、既存店ベースは前年同月比4.9%増と30カ月連続で前年を上回った。
- 食料品は、節約志向がみられ買上点数は減少傾向にあるものの、値上げによる単価上昇などにより同4.4%増となった。衣料品は、平均気温が高くなりゆしウェアをはじめとした半袖衣料が好調となり同5.5%増、住居関連は同7.6%増となった。
- 全店ベースは同6.3%増と30カ月連続で前年を上回った。

(3) 新車販売台数：2カ月ぶりに減少



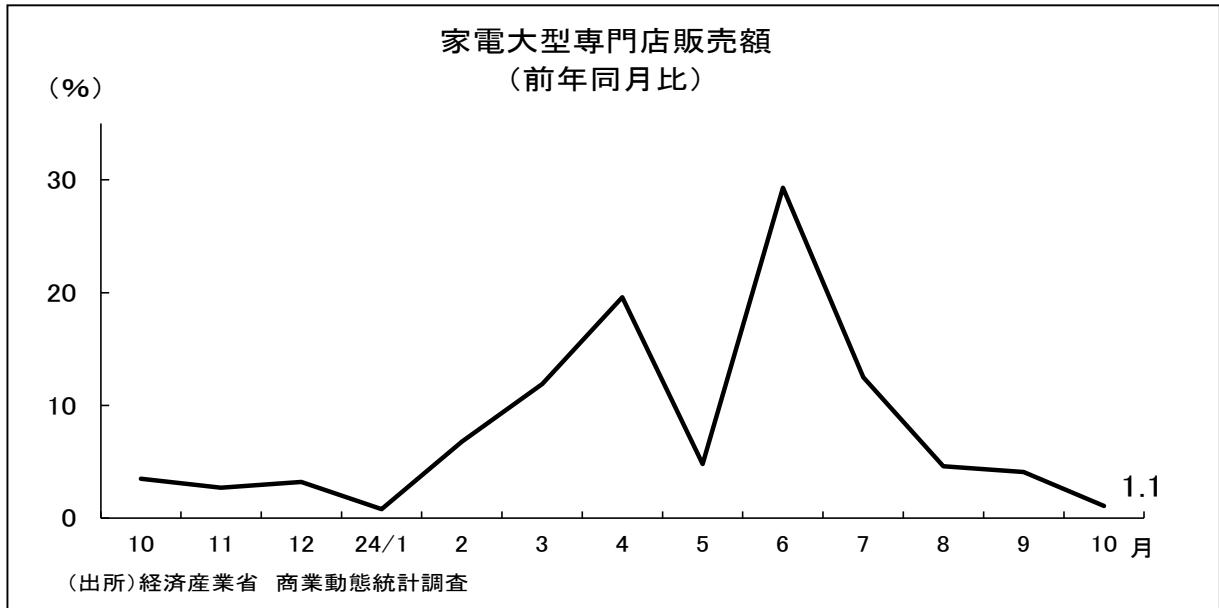
- ・ 新車販売台数は 3,596 台で前年同月比 1.0%減と 2 カ月ぶりに前年を下回った。
- ・ レンタカーや普通乗用車は増加したものの、軽自動車の減少幅が大きく全体を押し下げた。
- ・ 車種別にみると、普通自動車（登録車）は 1,720 台（前年同月比 8.8%増）で、うち普通乗用車は 835 台（同 4.8%増）、小型乗用車は 702 台（同 11.1%増）であった。軽自動車（届出車）は 1,876 台（同 8.6%減）で、うち軽乗用車は 1,394 台（同 15.7%減）であった。

(4) 中古自動車販売台数（登録ベース）：2カ月ぶりに減少



- ・ 中古自動車販売台数（普通自動車及び軽自動車の合計、登録ベース）は、1 万 7,944 台で前年同月比 1.2%減と 2 カ月ぶりに前年を下回った。
- ・ 内訳では、普通自動車が 7,477 台（前年同月比 1.6%増）、軽自動車が 1 万 467 台（同 3.1%減）となった。

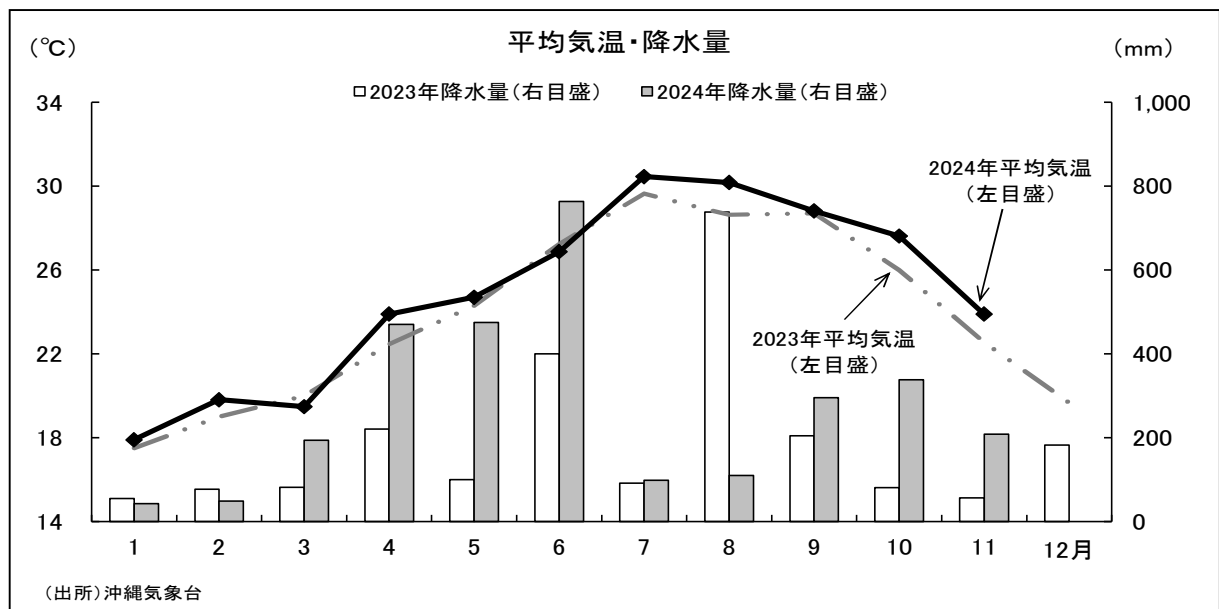
(5) 家電大型専門店販売額：15 カ月連続で増加



- ・ 家電大型専門店販売額（10 月）は、前年同月比 1.1%増と 15 カ月連続で前年を上回った。
- ・ 値上げによる単価上昇に加え、県による補助事業「おきなわ省エネ家電買換応援キャンペーン」によりエアコンや冷蔵庫を中心に買い替え需要の高まりがみられた。

(参考)

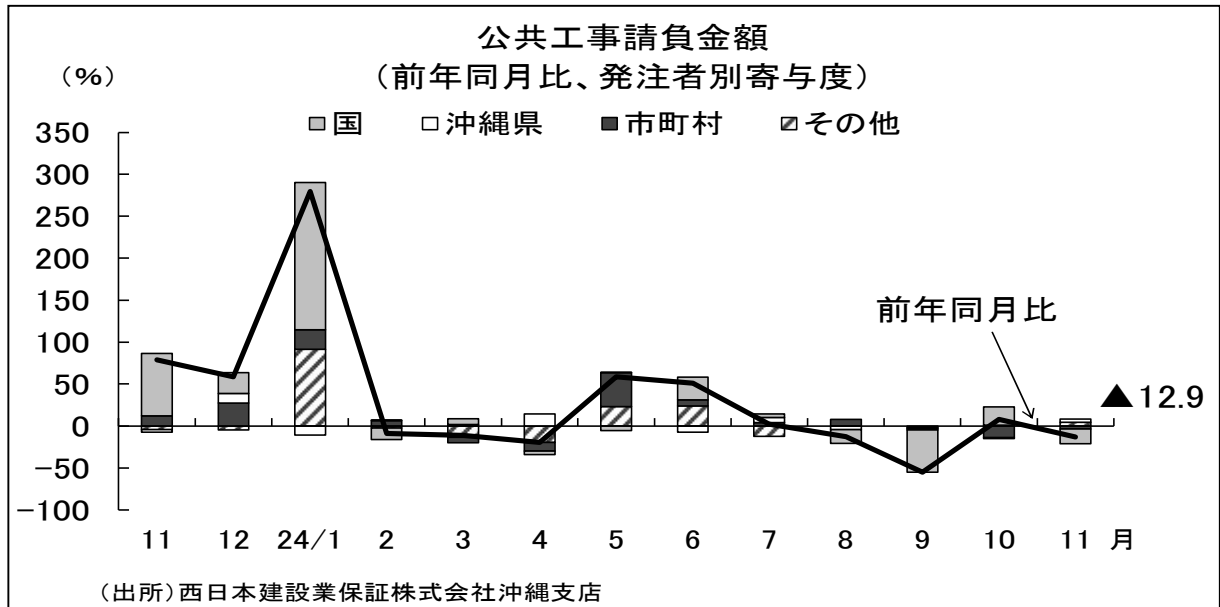
◇ 気象: 平均気温・降水量（那覇）



- ・ 平均気温は 23.9℃で前年同月（22.6℃）より高く、降水量は 208.5mmで前年同月（56.5mm）より多かった。
- ・ 沖縄地方は、高気圧に覆われて晴れた日もあったが、湿った空気や気圧の谷、前線の影響で曇りや雨の日が多く、記録的な大雨や荒れた天気となった所があった。
- ・ 平均気温は平年よりかなり高く、降水量は平年よりかなり多く、日照時間は平年より少なかった。

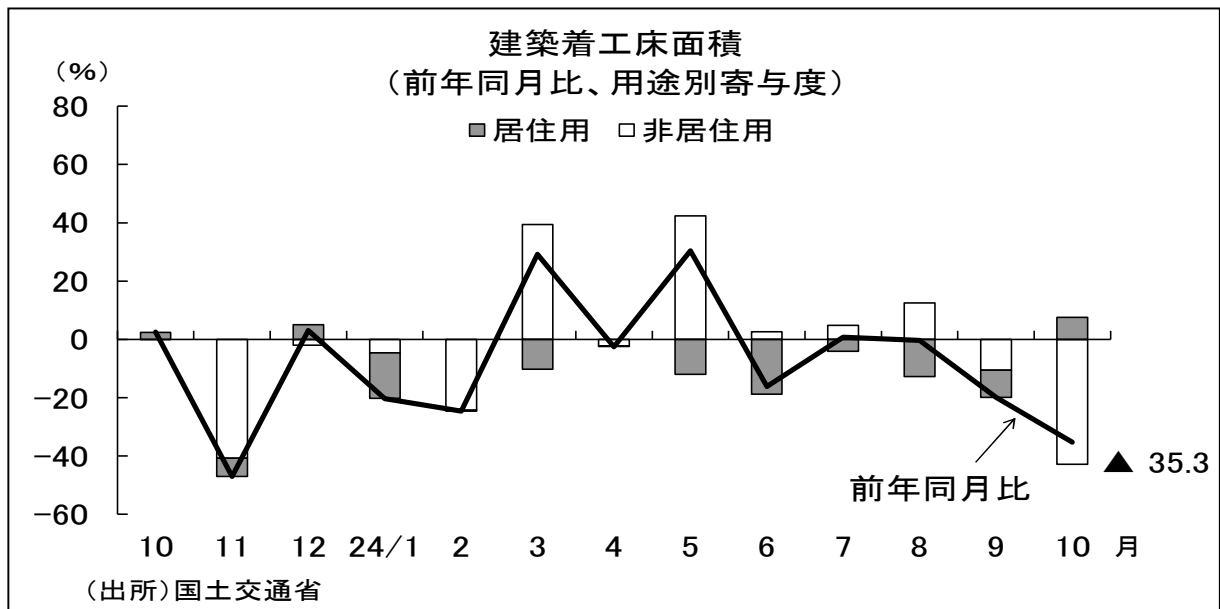
2. 建設関連

(1) 公共工事請負金額：2カ月ぶりに減少



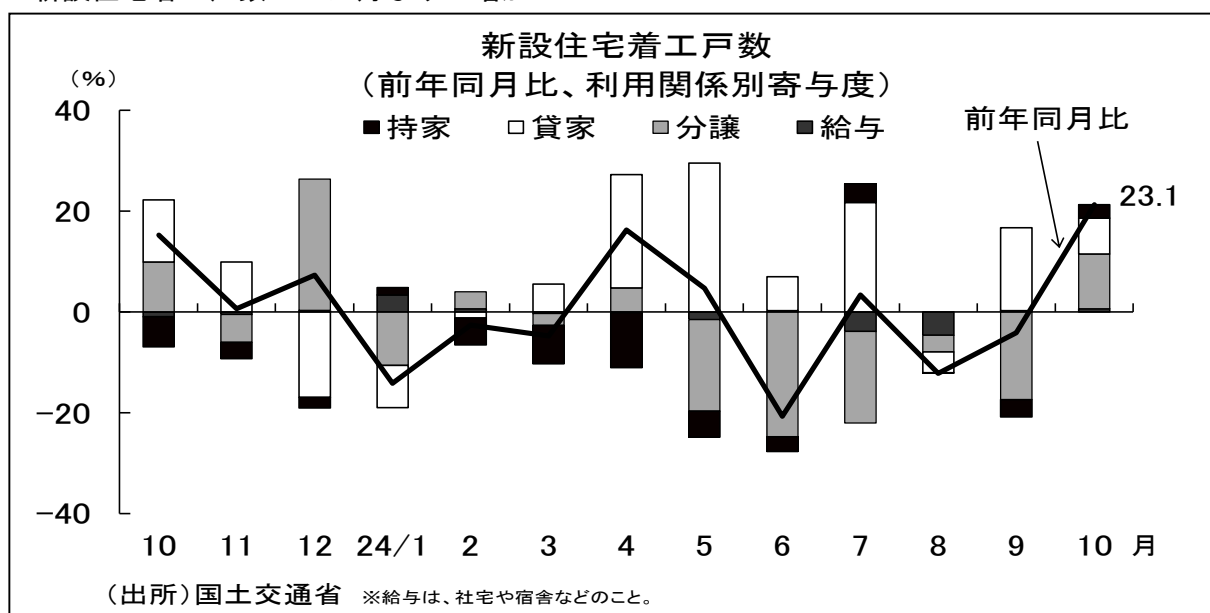
- 公共工事請負金額は、266億80百万円で前年同月比12.9%減となり、2カ月ぶりに前年を下回った。
- 発注者別では、県は同35.7%増、独立行政法人等・その他は同297.6%増となり、国は同28.1%減、市町村は同13.6%減となった。

(2) 建築着工床面積：3カ月連続で減少



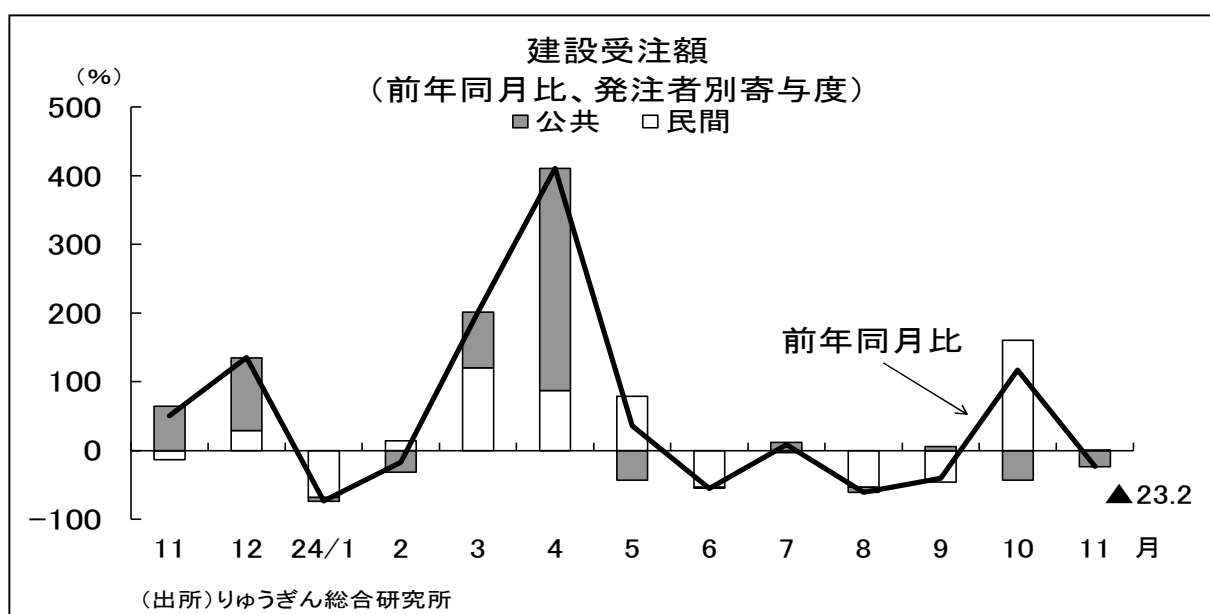
- 建築着工床面積（10月）は9万3,915㎡で前年同月比35.3%減と3カ月連続で前年を下回った。居住用は同18.4%増となり、非居住用は同72.5%減となった。
- 建築着工床面積を用途別（大分類）にみると、居住用では居住専用、居住産業併用ともに増加した。非居住用では、公務用などが増加し、運輸業用、飲食店・宿泊業用などが減少した。

(3) 新設住宅着工戸数：3カ月ぶりに増加



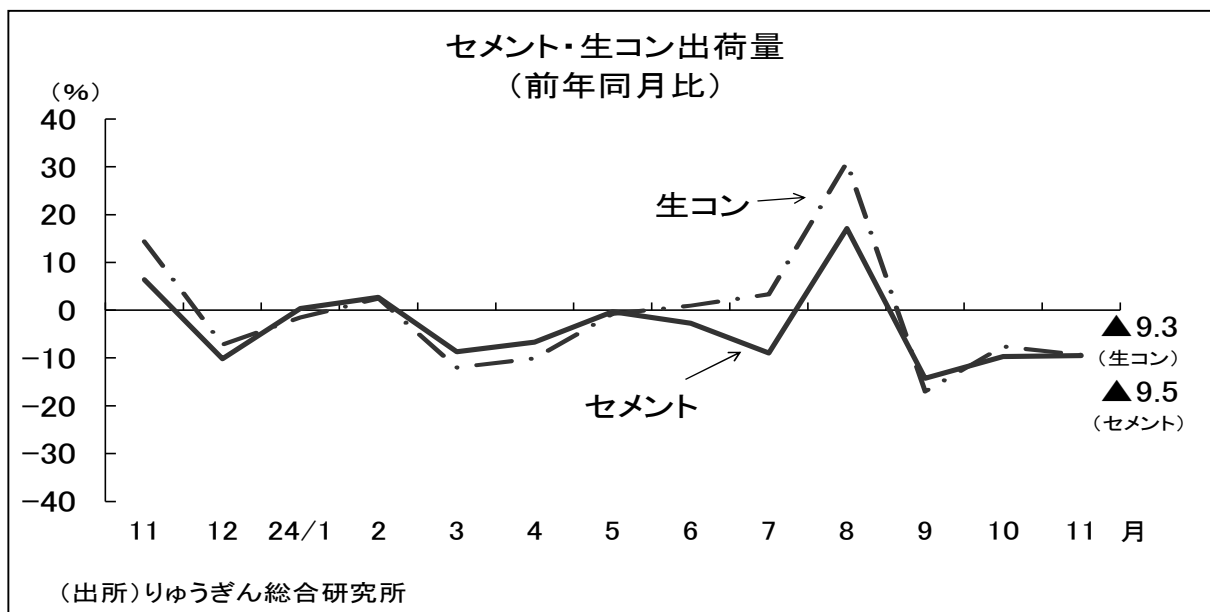
- ・ 新設住宅着工戸数（10月）は906戸で前年同月比23.1%増と3カ月ぶりに前年を上回った。
- ・ 利用関係別では、持家（204戸）が同10.9%増、貸家（446戸）が同13.5%増、給与（5戸）が全増、分譲（251戸）が同47.6%増となった。

(4) 建設受注額：2カ月ぶりに減少



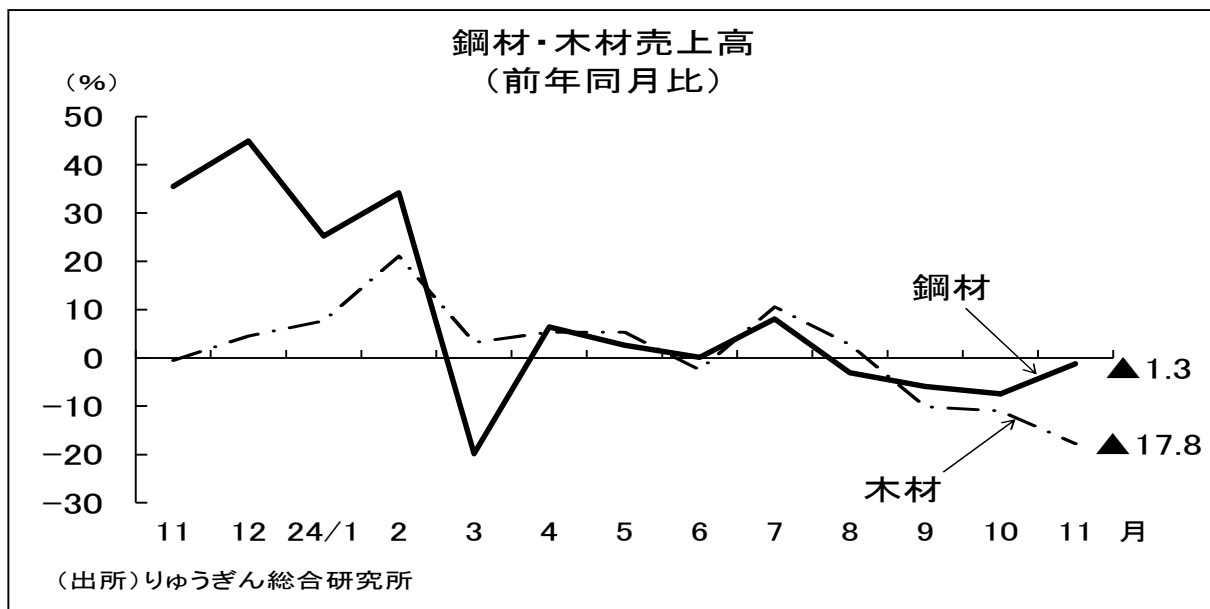
- ・ 建設受注額（調査先建設会社：17社）は前年同月比23.2%減と2カ月ぶりに前年を下回った。
- ・ 発注者別では、公共工事は同45.7%減と2カ月連続で減少し、民間工事は同1.4%増と2カ月連続で増加した。

(5) セメント・生コン：セメント、生コンはともに3カ月連続で減少



- ・ セメント出荷量は6万4,198トンとなり、前年同月比9.5%減と3カ月連続で前年を下回った。
- ・ 生コン出荷量は11万520 m³で同9.3%減と3カ月連続で前年を下回った。生コン出荷量を出荷先別にみると、公共工事では、米軍工事向けなどが増加し、学校関連向け、海事工事向けなどが減少した。民間工事では、ホテル向けなどが増加し、マンション向け、個人住宅向けなどが減少した。

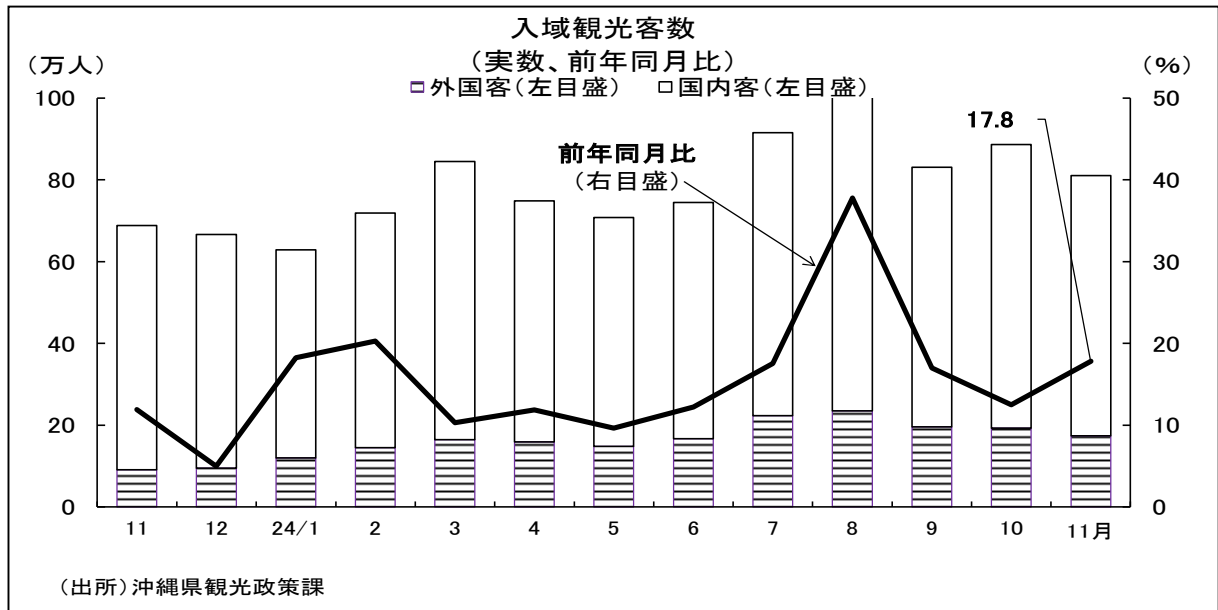
(6) 鋼材・木材：鋼材は4カ月連続で減少、木材は3カ月連続で減少



- ・ 鋼材売上高は、出荷量が減少したことなどから前年同月比1.3%減と4カ月連続で前年を下回った。
- ・ 木材売上高は、出荷量が減少したこと、木材価格が下降したことなどから同17.8%減と3カ月連続で前年を下回った

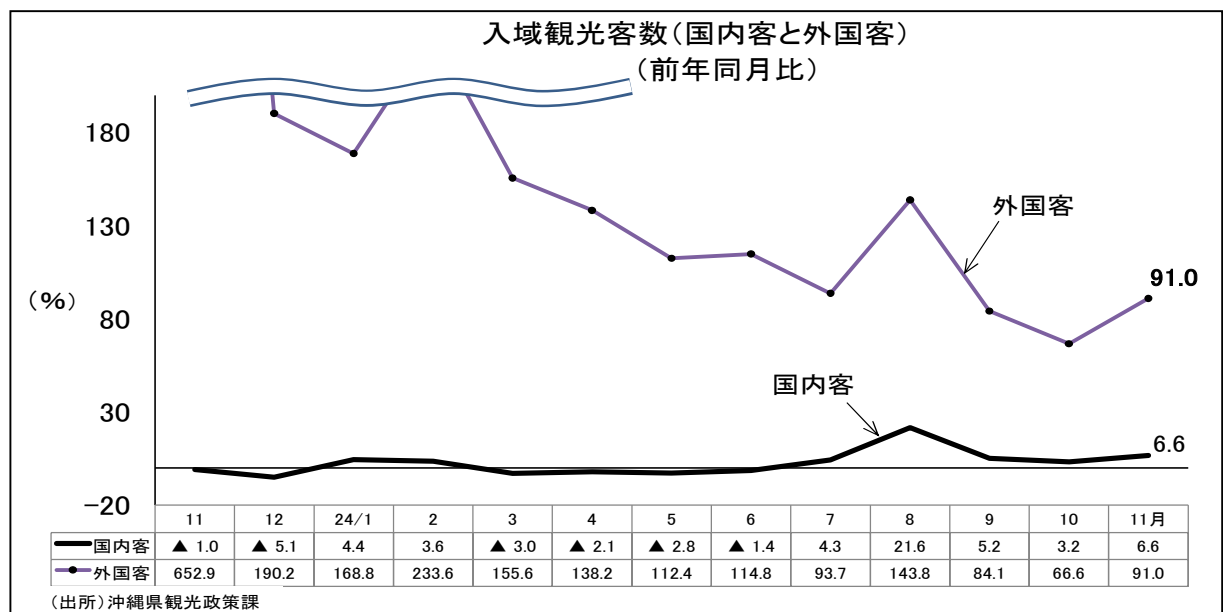
3. 観光関連

(1) 入域観光客数：36 カ月連続で増加



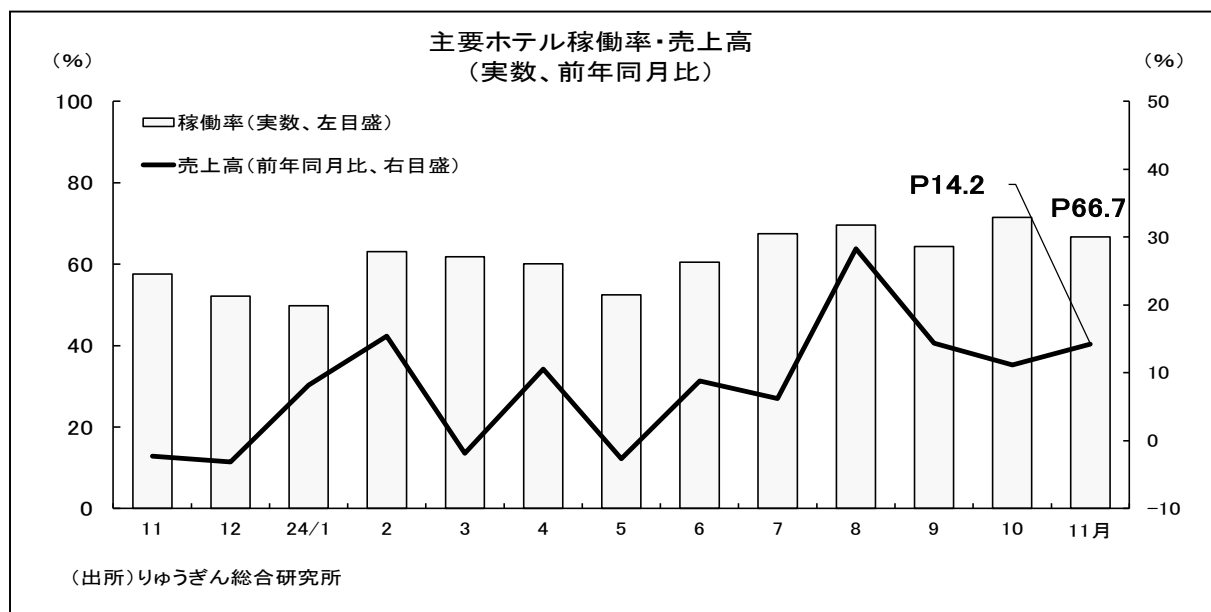
- 入域観光客数は、81 万 800 人（前年同月比 17.8%増）となり、36 カ月連続で前年を上回った。
- 路線別では、空路は 75 万 300 人（同 11.5%増）となり 36 カ月連続で前年を上回った。海路は 6 万 500 人（同 295.4%増）となり 27 カ月連続で前年を上回った。

(2) 入域観光客数（国内客、外国客）：国内客は5 カ月連続で増加、外国客は26 カ月連続で増加



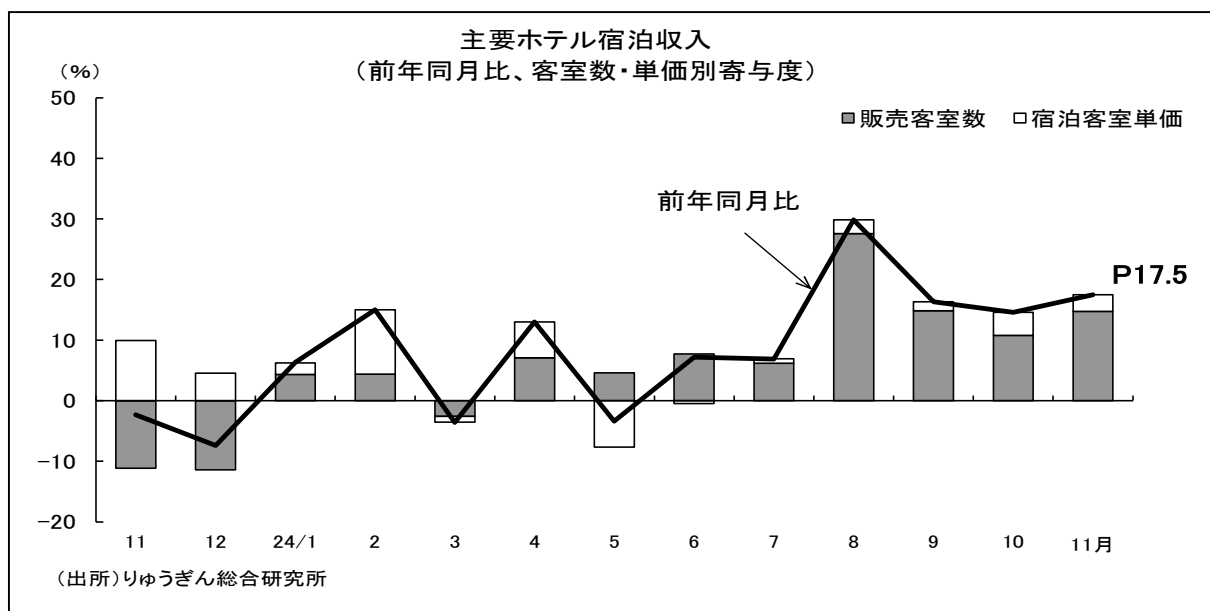
- 国内客は、63 万 6,800 人（前年同月比 6.6%増）となり、5 カ月連続で前年を上回った。外国客は 17 万 4,000 人（同 91.0%増）となり、26 カ月連続で増加した。
- 修学旅行の最盛期であるなか秋の行楽シーズンで個人の旅行需要も高く、国内客が増加したほか、外国客も引き続き好調であった。

(3) 主要ホテル稼働率・売上高：稼働率は8カ月連続で上昇、売上高は6カ月連続で増加



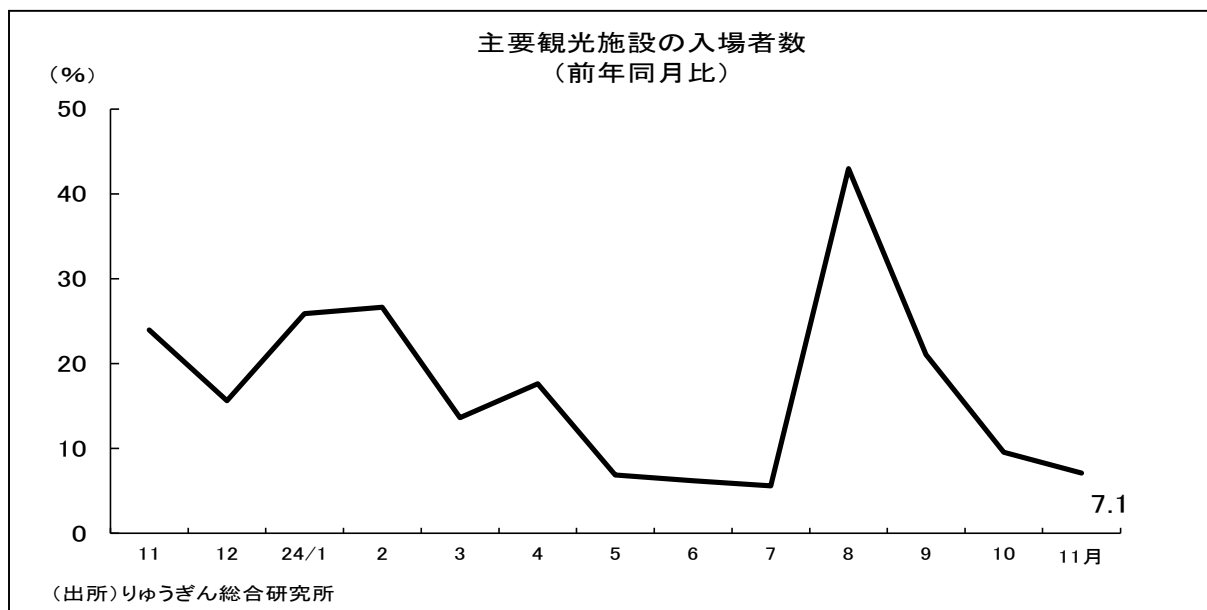
- ・ 主要ホテル（速報値）の客室稼働率は66.7%と前年同月差9.1%ポイント上昇し8カ月連続で前年を上回り、売上高は前年同月比14.2%増となり、6カ月連続で前年を上回った。
- ・ 那覇市内ホテルの客室稼働率は77.5%と同19.7%ポイント上昇し、11カ月連続で前年を上回り、売上高は同33.2%増と12カ月連続で前年を上回った。
- ・ リゾート型ホテル（速報値）の客室稼働率は62.7%と同5.2%ポイント上昇し8カ月連続で前年を上回り、売上高は同10.1%増と6カ月連続で前年を上回った。

(4) 主要ホテル宿泊収入：6カ月連続で増加



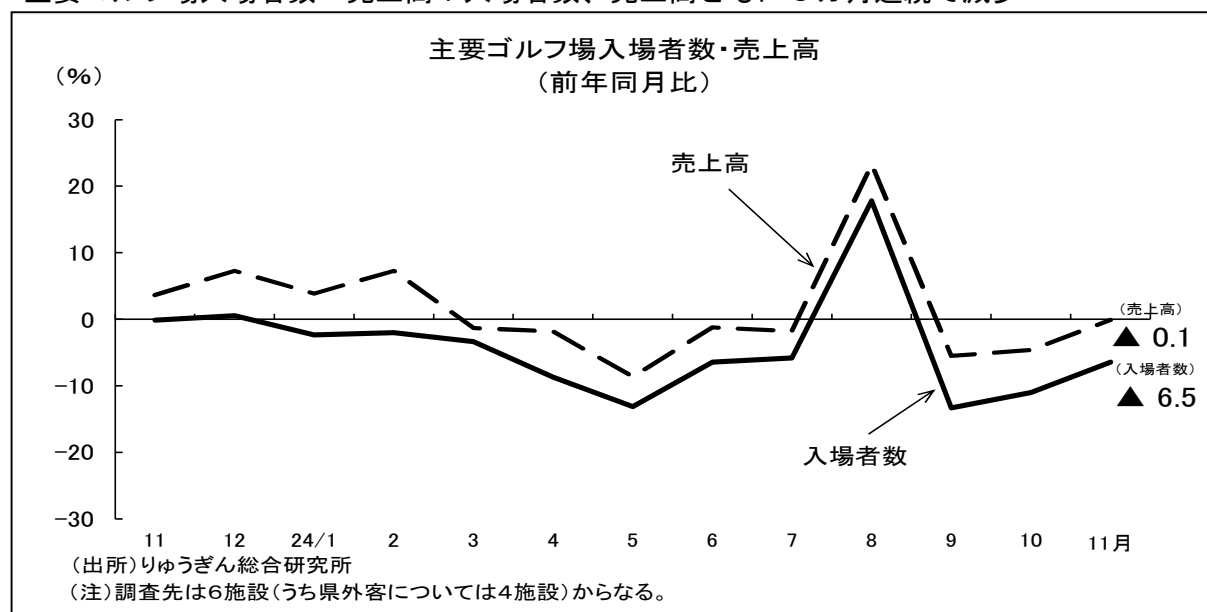
- ・ 主要ホテル（速報値）の売上高のうち宿泊収入は、販売客室数（数量要因）が増加、宿泊客室単価（価格要因）も上昇し、前年同月比17.5%増と6カ月連続で前年を上回った。
- ・ 那覇市内ホテルは、販売客室数が増加、宿泊客室単価も上昇し、同37.4%増となり12カ月連続で前年を上回った。
- ・ リゾート型ホテル（速報値）は、販売客室数が増加、宿泊単価も上昇し、同13.2%増となり6カ月連続で前年を上回った。

(5) 主要観光施設の入場者数：33 カ月連続で増加



- ・ 主要観光施設の入場者数は、前年同月比 7.1%増と 33 カ月連続で前年を上回った。
- ・ 修学旅行の最盛期であるほか、国内外からの個人やグループ等の個人旅行も増加傾向がみられた。

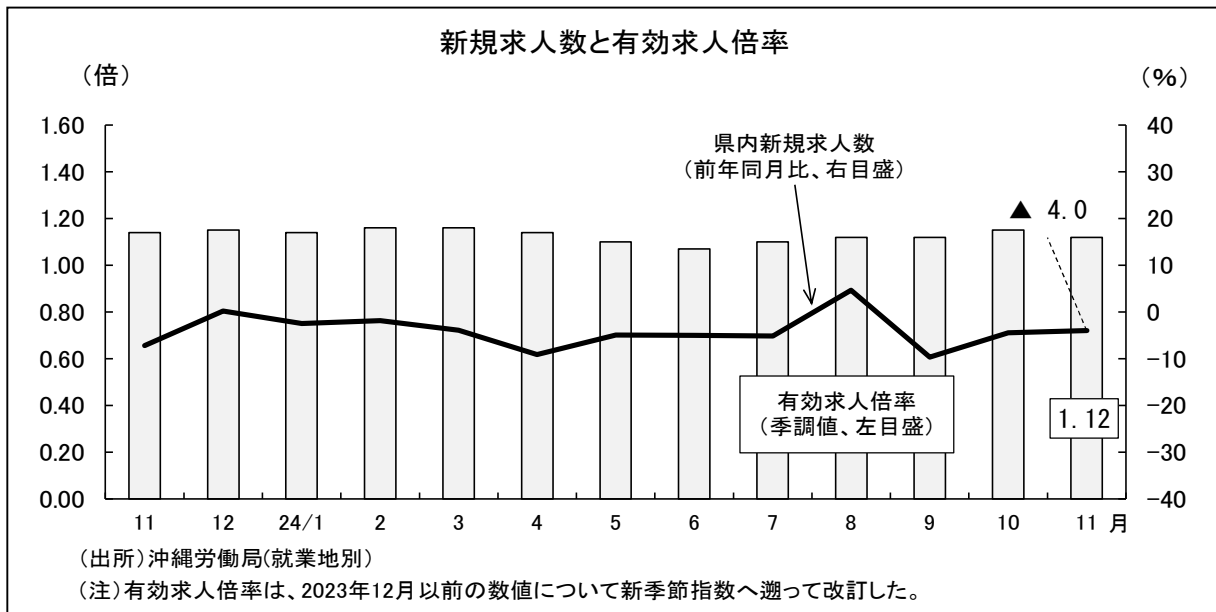
(6) 主要ゴルフ場入場者数・売上高：入場者数、売上高ともに 3 カ月連続で減少



- ・ 主要ゴルフ場の入場者数は、前年同月比 6.5%減と 3 カ月連続で前年を下回った。県内客は 3 カ月連続で前年を下回り、県外客は 3 カ月ぶりに前年を上回った。売上高は同 0.1%減と 3 カ月連続で前年を下回った。
- ・ ゴルフシーズンで予約状況は前年とほぼ同様であったものの、天候不良によるキャンセルが多く、入場者・売上ともに減少した。

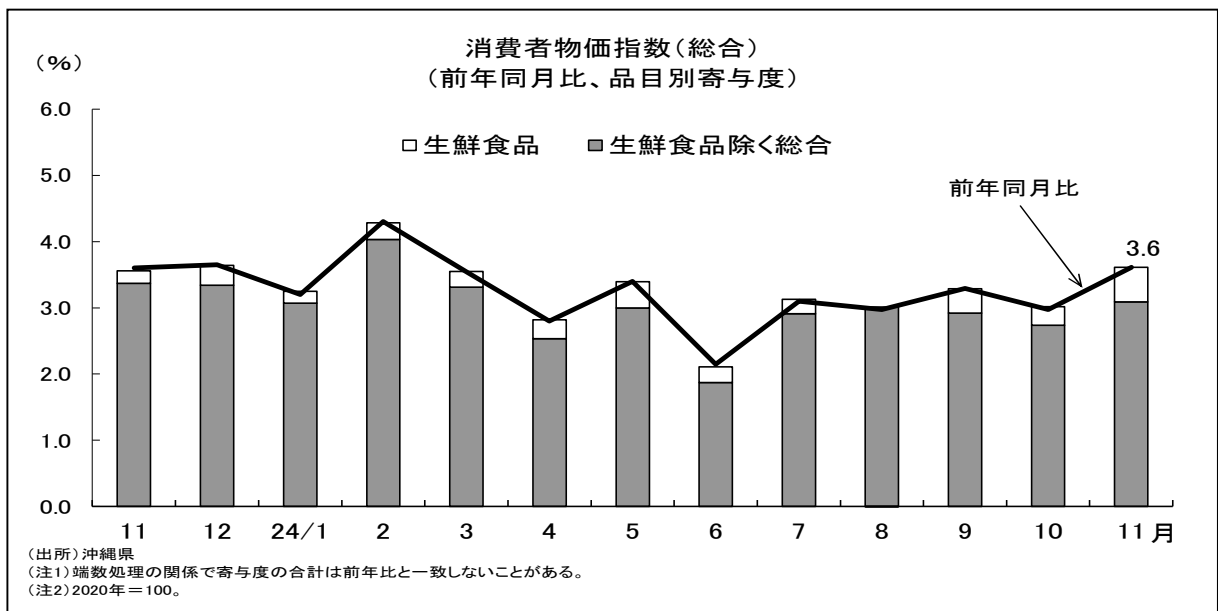
4. その他

(1) 雇用関連：新規求人数は減少、有効求人倍率（季調値）は低下



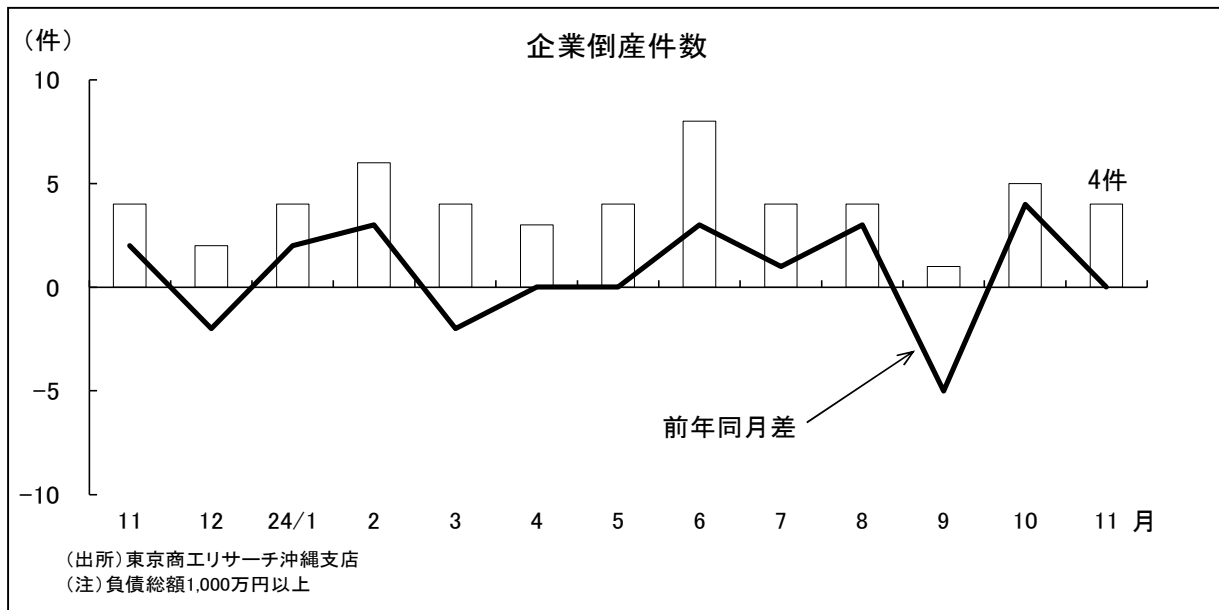
- 新規求人数は、前年同月比 4.0%減と3カ月連続で前年を下回った。産業別では、宿泊業・飲食サービス業、情報通信業などで減少した。有効求人倍率(季調値)は1.12倍で、前月から0.03ポイント低下した。
- 労働力人口は、80万4,000人で前年同月比1.1%増となり、就業者数は、78万人で同1.0%増となった。完全失業者数は2万4,000人で同4.3%増となり、完全失業率(季調値)は3.3%と、前月から0.1ポイント低下した。

(2) 消費者物価指数：39カ月連続で上昇



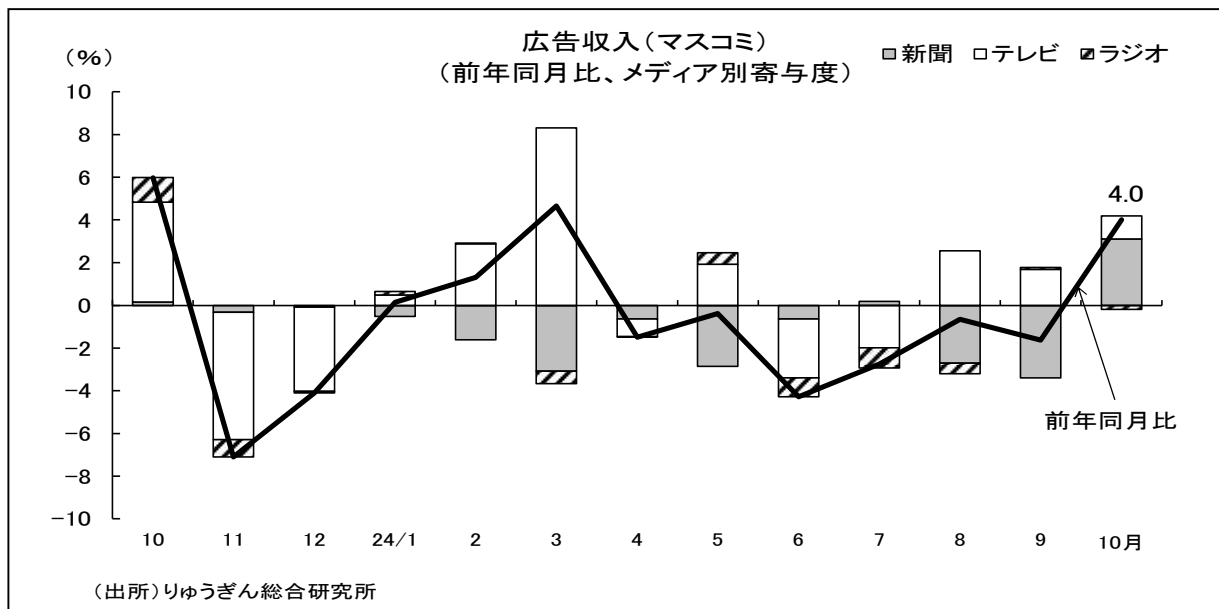
- 消費者物価指数は、前年同月比 3.6%の上昇となり、39カ月連続で前年を上回った。生鮮食品を除く総合は同3.3%の上昇となり、生鮮食品及びエネルギーを除く総合は同2.9%の上昇となった。
- 費目別の動きをみると、食料、光熱・水道などすべての費目で上昇した。

(3) 企業倒産：件数は同数、負債総額は増加



- ・ 倒産件数は4件で前年同月と同数となった。業種別では、小売業が1件、情報通信業が1件、サービス業他が2件となった。
- ・ 負債総額は2億8,700万円で、前年同月比20.1%増となった。

(4) 広告収入（マスコミ）：7カ月ぶりに増加



- ・ 広告収入（マスコミ：10月）は、前年同月比4.0%増と7カ月ぶりに前年を上回った。
- ・ 衆議院議員選挙があり、広告需要の高まりがみられた。

沖縄県内の主要金融経済指標

沖縄県内の主要金融経済指標(その1)

	百貨店 売上高	スーパー 売上高 (既存店)	スーパー 売上高 (全 店)	家電大型 専門店 販売額	新車販売 台 数	中古自動 車販売台 数	公共工事請負額		建築着工床面積	
暦年	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	百万円	前年比	千平米	前年比
2021	▲ 7.9	▲ 1.7	▲ 0.2	21.2	▲ 11.0	1.7	344,381	11.8	1,571	1.0
2022	5.2	2.0	2.5	1.3	▲ 1.2	▲ 7.9	340,357	▲ 1.2	1,519	▲ 3.3
2023	8.4	5.5	6.1	▲ 0.8	19.2	3.6	425,816	25.1	1,337	▲ 12.0
2023 10	11.8	6.6	6.9	3.5	15.1	8.2	22,851	▲ 23.0	145	2.4
11	5.3	5.1	5.4	2.7	6.1	3.5	30,627	78.9	89	▲ 47.0
12	2.0	3.2	3.8	3.2	▲ 8.1	7.0	17,812	58.8	139	3.0
2024 1	7.1	3.5	4.0	0.8	▲ 19.7	5.4	42,164	279.4	78	▲ 20.3
2	13.3	9.9	10.6	6.8	▲ 29.5	7.3	53,986	▲ 9.1	75	▲ 24.6
3	5.2	6.3	7.2	11.9	▲ 26.8	▲ 4.7	75,459	▲ 11.1	104	29.2
4	0.4	3.9	3.9	19.6	▲ 25.4	3.5	14,227	▲ 19.5	108	▲ 2.5
5	4.5	1.6	2.0	4.8	▲ 7.5	▲ 1.9	22,412	58.7	150	30.4
6	11.1	8.7	9.3	29.3	▲ 7.4	▲ 6.5	34,088	51.0	134	▲ 16.2
7	0.7	2.5	2.9	12.5	▲ 2.5	10.3	45,309	2.2	99	0.7
8	12.0	5.2	5.4	4.6	17.9	11.7	23,591	▲ 12.5	96	▲ 0.3
9	4.6	5.6	6.1	4.1	▲ 2.2	▲ 6.5	33,001	▲ 55.1	86	▲ 19.9
10	▲ 0.8	1.6	2.7	1.1	5.1	4.2	24,622	7.7	94	▲ 35.3
11	7.5	4.9	6.3	—	▲ 1.0	▲ 1.2	26,680	▲ 12.9	—	—
出所	りゅうぎん総合研究所調べ				自販協	中古 自販協	西日本建設業保証 沖縄支店		国土交通省	

注) 新車販売台数の出所は沖縄県自動車販売協会、中古自動車販売台数は沖縄県中古自動車販売協会。

	新設住宅着工戸数		建 設 受注額	セメント 出荷数量	生コン 出荷数量	鋼 材 売上高	木 材 売上高	手持ち 工事額	建設関連 DI (単月)	建設関連 DI (3カ月移 動平均)
暦年	戸	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	指数	指数	指数
2021	9,668	▲ 9.7	▲ 8.4	▲ 15.4	▲ 21.1	▲ 6.0	3.1	—	—	—
2022	9,179	▲ 5.1	21.0	▲ 1.3	0.5	10.3	9.0	—	—	—
2023	10,183	10.9	32.4	0.6	▲ 0.1	P14.6	▲ 2.5	—	—	—
2023 10	747	15.3	▲ 6.4	10.9	4.9	14.1	8.6	245.4	3.6	3.5
11	782	0.6	50.7	6.4	14.4	35.5	▲ 0.5	250.5	▲ 10.7	▲ 0.1
12	1,102	7.3	135.0	▲ 10.1	▲ 7.2	44.9	4.5	263.5	7.1	0.0
2024 1	768	▲ 14.2	▲ 73.8	0.4	▲ 1.5	25.2	7.6	263.7	▲ 7.1	▲ 3.6
2	640	▲ 2.6	▲ 17.0	2.7	2.5	34.2	21.1	261.1	0.0	0.0
3	638	▲ 4.8	201.5	▲ 8.7	▲ 12.0	▲ 19.8	3.2	290.1	▲ 10.7	▲ 6.0
4	852	16.2	410.7	▲ 6.7	▲ 10.1	6.4	5.3	288.0	▲ 3.6	▲ 4.8
5	804	4.7	36.0	▲ 0.3	▲ 0.8	2.6	5.3	290.6	0.0	▲ 4.8
6	962	▲ 20.7	▲ 55.1	▲ 2.7	1.0	0.1	▲ 2.5	281.5	0.0	▲ 1.2
7	955	3.4	8.6	▲ 9.0	3.3	8.1	10.5	277.0	▲ 14.3	▲ 4.8
8	744	▲ 12.2	▲ 61.0	17.0	31.0	▲ 3.1	2.7	300.1	▲ 3.7	▲ 6.0
9	810	▲ 4.1	▲ 40.4	▲ 14.2	▲ 17.0	▲ 5.9	▲ 10.1	305.2	▲ 3.4	▲ 7.1
10	906	21.3	117.1	▲ 9.7	▲ 7.6	▲ 7.5	▲ 11.0	299.2	▲ 3.4	▲ 3.5
11	—	—	▲ 23.2	▲ 9.5	▲ 9.3	▲ 1.3	▲ 17.8	299.9	0.0	▲ 2.3
出所	国土交通省		りゅうぎん総合研究所調べ							

注) 手持ち工事額は、2015年平均＝100とする。

沖縄県内の主要金融経済指標(その2)

暦年	入域観光客数		入域観光客数 のうち外国客		ホテル稼働率 (実数)		ホテル売上高 (前年比)		観光施設 入場者数	ゴルフ場 入場者数
	千人	前年比	千人	前年比	市内	リゾート	市内	リゾート	前年比	前年比
2021	3,016.7	▲ 19.3	0.0	▲ 100.0	24.3	22.2	▲ 30.4	▲ 20.0	▲ 41.0	8.6
2022	5,697.8	88.9	47.7	100.0	46.9	43.4	92.9	104.3	134.1	4.7
2023	8,235.1	44.5	986.3	1,967.7	57.4	56.0	40.8	33.3	P62.9	3.3
2023 10	788.4	25.0	115.5	4,177.8	60.8	64.9	18.4	12.7	34.2	▲ 5.5
11	688.0	11.9	90.9	651.2	57.8	57.4	▲ 6.1	▲ 1.4	23.9	▲ 0.1
12	666.6	5.0	95.1	189.9	63.9	47.7	3.8	▲ 4.8	15.6	0.5
2024 1	629.1	18.2	120.3	168.5	58.9	46.4	15.9	6.4	25.9	▲ 2.3
2	719.2	20.3	144.8	233.6	72.0	59.8	18.8	14.5	26.6	▲ 2.0
3	845.1	10.3	164.1	155.6	69.7	58.8	10.1	▲ 4.1	13.6	▲ 3.4
4	749.3	11.9	158.9	138.2	63.5	58.4	26.6	8.0	17.6	▲ 8.7
5	707.5	9.7	148.5	91.1	55.5	51.3	17.6	▲ 5.6	6.9	▲ 13.1
6	744.5	12.2	166.9	44.9	64.4	59.0	19.5	7.0	6.2	▲ 6.4
7	912.0	17.1	219.7	90.7	70.5	65.9	26.6	4.0	5.6	▲ 5.8
8	1,003.8	37.8	235.0	143.8	72.7	62.6	39.5	9.6	43.0	17.8
9	831.0	17.0	196.2	84.1	70.3	62.1	35.4	11.4	21.0	▲ 13.3
10	886.7	12.5	192.3	66.6	76.2	69.7	30.2	8.1	9.6	▲ 11.0
11	810.8	17.8	174.0	91.0	77.5	P62.7	33.2	P10.1	7.1	▲ 6.5
出所	県文化観光スポーツ部 観光政策課				りゅうぎん総合研究所調べ					

暦年	企業倒 産件数	負債総額		消費者 物価指数	失業率 (季調値)	就業者数	有効求人 倍率 (季調値)	新 規 求人数 (県内)	広告 収入
	件	百万円	前年比	前年比	%	前年比	倍	前年比	前年比
2021	38	10,989	201.9	0.0	3.6	0.4	0.80	0.7	3.9
2022	34	6,120	▲ 44.3	2.8	3.3	2.1	0.98	22.5	▲ 2.9
2023	40	3,398	▲ 44.5	3.7	3.3	1.7	1.16	7.5	▲ 2.6
2023 10	1	200	▲ 75.5	3.5	3.4	3.7	1.16	1.4	6.0
11	4	239	218.7	3.6	3.2	3.1	1.11	▲ 7.2	▲ 7.1
12	2	110	▲ 82.2	3.6	2.9	1.3	1.13	0.2	▲ 4.1
2024 1	4	416	225.0	3.2	2.8	1.2	1.14	▲ 2.4	0.1
2	6	157	▲ 63.5	4.3	2.8	1.7	1.16	▲ 1.8	1.3
3	4	113	▲ 22.1	3.5	3.3	1.1	1.16	▲ 3.9	4.6
4	3	188	▲ 36.1	2.8	3.9	0.8	1.14	▲ 9.1	▲ 2.2
5	4	55	▲ 92.0	3.4	3.3	1.9	1.10	▲ 5.0	▲ 0.4
6	8	1,879	735.1	2.1	2.9	0.1	1.07	▲ 5.0	▲ 4.3
7	4	1,099	647.6	3.1	3.3	2.0	1.10	▲ 5.1	▲ 2.9
8	4	201	905.0	3.0	2.8	3.7	1.12	4.7	▲ 0.7
9	1	56	▲ 92.7	3.3	3.5	1.4	1.12	▲ 9.7	▲ 1.6
10	5	537	168.5	3.0	3.4	▲ 1.3	1.15	▲ 4.5	4.0
11	4	287	20.1	3.6	3.3	1.0	1.12	▲ 4.0	-
出所	東京商工リサーチ沖縄支店			県企画部統計課			沖縄労働局		りゅうぎん 総研調べ

注) 消費者物価指数は、2021年7月より2020年＝100に改定された。

注) 失業率と有効求人倍率は、2023年12月以前の数値について新季節指数へ遡って改訂した。

注) 有効求人倍率(季調値)と新規求人数は、就業地ベース。

沖縄県内の主要金融経済指標(その3)

	銀行券 発行額	銀行券 還収額	銀行券 増減 (▲還収超)	貸出 金利 (地銀3行)	県内金融機関 の預金残高 (末残)		地銀3行預金量 (信託勘定含む末残)		地銀3行融資量 (信託勘定含む末残)	
年度	億円	億円	億円	%	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比
2021FY	2,825	2,906	▲ 80	1.356	58,716	4.1	58,037	4.1	41,033	0.5
2022FY	2,581	3,453	▲ 873	1.332	60,834	3.6	60,065	3.5	41,959	2.3
2023FY	2,533	3,903	▲ 1,492	1.318	62,838	3.3	62,058	3.3	43,558	3.8
2023 10	209	323	▲ 113	1.327	61,897	2.2	61,174	2.2	41,641	1.2
11	258	352	▲ 93	1.328	62,021	2.4	61,242	2.4	41,766	1.2
12	352	181	170	1.318	61,973	2.3	61,202	2.2	42,233	1.9
2024 1	148	500	▲ 352	1.320	61,654	2.5	60,873	2.4	42,248	1.9
2	161	178	▲ 139	1.317	61,590	2.3	60,821	2.1	42,428	1.9
3	183	362	▲ 179	1.297	62,838	3.3	62,058	3.3	43,558	3.8
4	246	307	▲ 61	1.317	63,353	2.4	62,633	2.4	42,615	2.7
5	166	489	▲ 323	1.321	63,137	2.1	62,331	2.0	42,700	2.8
6	152	316	▲ 164	1.317	63,609	2.5	62,838	2.6	42,858	3.1
7	659	527	132	1.314	63,442	1.8	62,633	1.7	43,166	3.7
8	279	584	▲ 305	1.311	63,652	2.2	62,812	2.1	43,433	4.5
9	201	381	▲ 179	1.316	63,344	1.8	62,606	1.8	43,566	4.2
10	242	492	▲ 250	1.373	62,937	1.7	62,115	1.5	43,558	4.6
11	-	-	-	-	-	-	62,719	2.4	43,885	5.1
出所	日本銀行那覇支店				日本銀行本店		沖縄県銀行協会			

注) 銀行券増減は、端数調整により一致しない場合がある。

注) 貸出金利は、暦年ベース。

	沖縄振興開発 金融公庫融資量 (末残)		沖縄県信用保証協会 債務残高(末残)		鉱工業生産指数 (季調値)		通関 輸出	通関 輸入
年度	億円	前年比	億円	前年比	2015年=100	前年比	百万円	百万円
2021FY	10,428	1.0	3,005	4.9	-	-	44,890	126,238
2022FY	10,667	2.3	3,006	0.0	-	-	75,417	302,815
2023FY	10,197	▲ 4.4	2,919	▲ 2.9	-	-	52,671	288,310
2023 10	10,321	▲ 3.7	2,953	▲ 1.4	72.9	1.1	1,620	17,430
11	10,285	▲ 4.3	2,954	▲ 1.2	77.0	13.2	7,894	50,581
12	10,241	▲ 4.6	2,946	▲ 1.7	73.3	4.3	1,380	12,960
2024 1	10,203	▲ 4.9	2,936	▲ 2.2	83.7	11.6	2,138	14,788
2	10,211	▲ 4.8	2,924	▲ 2.4	84.2	11.3	1,691	16,725
3	10,197	▲ 4.4	2,919	▲ 2.9	80.7	4.4	16,581	10,902
4	10,144	▲ 4.5	2,885	▲ 3.4	76.5	6.2	4,260	20,379
5	10,079	▲ 4.6	2,856	▲ 4.1	74.4	2.2	2,123	19,958
6	10,018	▲ 4.6	2,841	▲ 4.4	72.5	▲ 0.6	7,384	25,091
7	9,905	▲ 5.4	2,831	▲ 4.7	75.5	7.2	3,042	55,228
8	9,877	▲ 4.0	2,810	▲ 5.2	70.9	3.1	2,076	38,014
9	9,811	▲ 4.2	2,792	▲ 5.7	71.3	▲ 9.4	1,810	12,758
10	9,678	▲ 6.2	2,788	▲ 5.6	74.0	1.5	2,062	14,711
11	9,631	▲ 6.4	2,778	▲ 6.0	-	-	1,968	24,723
出所	沖縄振興開発金融 公庫		沖縄県信用保証協会		県企画部統計課		沖縄地区税関	

注) 県内金融機関の預金残高は、19年2月分より日本銀行(本店)ホームページ上で公表している県内預金合計に遡り改訂した。

注) 鉱工業生産指数は暦年ベース。暦年値、前年比は原指数の増減率。2019年4月より2015年=100に改定された。

注) 貿易概況は、暦年ベース。